

友松会だより

平成26年度 新春のつどい報告号
発行責任者 会長 芦川 弘
27年2月4日発行

新春のつどい

平成27年1月24日 土曜日
会場 ローズホテル横浜



新年の挨拶(芦川会長) (要旨)



新年あけましておめでとうございます。

今年はヒツジ年です。羊にちなんで会員がまとまり、力を合わせて友松会の難局に立ち向かっていけたらと切に願っております。

昨年6月、横浜地区で200人を超える参加者で総会が行われました。第1部ではご来賓の方々からのご祝辞、卒寿を迎えられた方々への記念品贈呈、松沢奨励賞の贈呈等が行われました。第2部ではNHKアナウンサー石澤典夫様の「放送の舞台裏」と題して講演をいただきました。第3部は会員が一同に会し懇親を深めました。

10月には1000人のOB・会員・学生の方々の参加でホームカミングデーが行われました。メイン講演として、会員の新田涉世氏から「リングが教室」と題して人生を熱く語っていただきました。「豊かな教育を語る会」では100人あまりの参加を得て、2人の松沢奨励賞受賞者の研究発表がありました。

本年度も友松会のスローガンとして「友松会の基盤強化の具体化と大学とのさらなる連携を図ろう」を掲げております。そのために今後も一段と本部・支部活動の強化充実を図らなければなりません。

さらに、今年度は、3年前から検討してきました「YNU校友会」構想が実現し、活動することになります。YNU校友会は大学を中心に学生・教職員・三基幹同窓会・地域を取り込む大がかりな組織で、一丸となって大学の理念を実現しようというものです。

それを機に、友松会では、27年度学部新入生を

新春のつどい次第

- | | |
|----------|----------|
| ・開会の言葉 | 〈懇談〉 |
| ・新年のあいさつ | ・若手会員紹介 |
| ・お祝いのことば | ・先輩からひと言 |
| ・ご来賓紹介 | ・支部紹介 |
| ・斉唱 1月1日 | ・学生歌 |
| ・鏡開き | ・万歳三唱 |
| ・乾杯 | ・閉会の言葉 |

同窓会員として迎え入れ、積極的に学生支援を行うことにしました。友松会が同窓会として、出来るだけ学生支援をしていこうというものです。

新会員の増強の一環として、126年の伝統を誇りとしつつ、教育人間科学部の同窓会としての新たな役割を担う組織として脱皮する使命を果たさなければなりません。すなわち、多様な分野の卒業生を受け入れる同窓会となる事が課題となります。27年度の新入生が友松会に加入してきます。同窓会としてその受け入れ体制の整備・充実喫緊の課題です。会員の総力で取り組まなければなりません。校友会へのご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、友松会会員の皆様のご健康とご多幸を心より祈念し、本日ご出席の皆様方に感謝申し上げ挨拶とします。

<スローガン>

「友松会の基盤強化の具体化と大学とのさらなる連携を図ろう」

来賓代表お祝いのことば

馬場裕人間科学部教授



平成29年度から学部の定員数を減らし、教員養成課程の一本化を図ります。つきましては、今後とも友松会の皆様に更なるご支援をお願いしたいと思います。

井上誠一横浜工業会理事長



昨年10月より待望の校友会がスタートしました。学部・学年を超えたタテ・ヨコの繋がりが一層強くなることを期待しています。

那谷屋正義参議院議員



会員として国会でがんばっています。先日、韓国の大学生が4名の教授に引率されて国会見学に来ました。学生から、「日本は、なぜレストランに喫煙席があるのか」と質問されました。

= 懇親会 =

出席140余名による一月一日の斉唱の後、恒例の鏡開きが行われ、懇談に入りました。



一月一日 斉唱



鏡開き



若手会員紹介・激励の言葉

○若手会員から

- ・廣瀬達也さん (H20 卒) 「これから皆さんからいろいろなことを教えていただきたい。」
- ・松永佳那子さん (H24 卒) 「友松会の先輩方を心強く思っています。」
- ・塚本靖則さん (H25 卒) 「3度目の出席、皆さんと楽しくお話が出来ることが楽しみです」
- ・高橋大樹さん (H26 卒) 「去年の今頃は卒論。今年は余裕を持って過ごしている。」

○芦川会長から励ましの言葉

「新入生が同窓会員になります。一番近い人が皆さんですから、若い人のまとめ役になって活躍してください。」

○先輩からひと言 高橋和子様(S24 卒)



同期会を毎年行っています。目標は東京オリンピックを見て頑張ろうということで、絆を深めています。

○横浜国立大学校友会 北澤尚徳事務局長

去年10月25日校友会発足。4月の入学生全員基本的に校友会の会員であり、友松会の会員です。入学時校友会費2万円・友松会費2万円払っていただくことでスタートします。財政がきちりしますので校友会と友松会と一緒に、学生さんや若い卒業生の方にいろいろな交流の場や教育活性の場を作っていきたいと思っています。



支部紹介<横須賀支部から川崎支部まで>



万歳三唱<角田浩様の音頭で>

15時30分懇談会は幕を閉じ、「新年のつどい」は閉会となりました。